

図書館だより

NO. 256 2019年9月号
(2019年9月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

雑誌と図書のリサイクル市

保存期限の過ぎた2017(平成29)年分の週刊誌、2016(平成28)年分の月刊誌、図書館で受け入れをしなかった寄贈本などを無料でお持ち帰りいただけます。

日時 10月5日(土) 10時30分~14時00分

※9時30分から図書館正面の大画面付近にて入場待機列の整理をします。

場所 さくらびありハーサル室 (はつかいち文化ホール1階)

※月刊誌はお一人につき10冊まで(週刊誌・図書は無制限)。※英字新聞はお一人につき10日分まで。

※子ども向け雑誌等、永年保存の雑誌は対象外です。

※本を入れる袋をご持参ください。

※会場は土足禁止です。靴を入れる袋をご持参ください。

11時30分から
冊数制限は
なくないます。



* 今月の展示 *

《中央展示》

『9月は自殺予防と健康増進』

あなたやあなたのとりの誰かのところのお天気は、雨模様ではないですか……?

からだの病気と同じように、ところの病気も、誰でもかかる可能性のあるものです。気づく、つなぐ、見守る。雨模様に気づいたら——どうしたらいいでしょう。大切な命を守るために、ページを開いてみませんか。

《企画展示》

『今読みたい怖い話』

まだまだ暑い日が続くこの季節、涼しくなる(かもしれない)怖~い本はいかが?

読んでも聞いても“怖い”怪談話はもちろん、かわいいおばけの話も少~し集めています。

※職場体験に来た中学生が資料を集めました

展示期間：9月25日(水)まで

予約・リクエスト受付件数の変更について（お知らせ）

いつも図書館をご利用いただきまして、ありがとうございます。

図書館では、かねてから皆さまに「予約・リクエスト」のサービスをご利用いただいておりますが、9月1日受付分から申込みできる件数について、次のとおり変更させていただきます。

《変更の内容》

サービス名	お申し込み内容	変更前 (8月31日受付まで)	変更後 (9月1日受付から)
予約	・廿日市市内の図書館にある資料の取り寄せ ・貸出中の資料の順番待ち	20点まで	合計20点まで (※)
リクエスト	・廿日市市内の図書館にない資料を、購入・ 市外図書館からの借受を希望	無制限	

※同時に、申込みできる件数の上限です。年間の合計受付件数などに制限はありません。

上記の見直しに伴い、図書館ホームページ中「利用者のページ」から、リクエスト情報をご確認いただけるようにします。リクエスト中の資料状況は「予約中資料一覧」のページに表示され、予約・リクエストの合計件数をご確認いただけます。

これまで「図書館にお薦めする本」として、たくさんのリクエストを申込みくださっていた利用者の方には申し訳ございませんが、読みたい本・調べたいことがわかる本を、広範囲に収集するため、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

新しく入った本(一般書)

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

『昔話とその周辺』筒井悦子／著 みやび出版 016.2/ツ

『「今、ここ」にある幸福』岸見一郎／著 清流出版 159/キ

『本当の「頭のよさ」ってなんだろう?』齋藤孝／著 誠文堂新光社 159.7/サ

『光に向かって這っていけ』サーロー節子／著 金崎由美／著 岩波書店 289.3/ヲ

『親から始まるひきこもり回復』梶田智彦／著 ハート出版 367.6/マ

『キレル!』中野信子／著 小学館 S491.3/ナ

『タニタの働き方革命』谷田千里／編著 タニタ／編著 日本経済新聞出版社 535.4/タ

『世界一美味しい手抜きごはん』はらぺこグリズリー著 KADOKAWA 596/ハ

『ビッグデータベースボール』トラヴィス・ソーチック著 桑田 健訳 KADOKAWA S783.7/リ

『人もお金も動かす超スゴイ!文章術』金川顕教／著 すばる舎 816/カ

『文豪たちの悪口本』彩図社文芸部編 彩図社 910.2/フ

『ザ・ボーダー』上 下 ドン・ウィンズロウ／著 田口俊樹／訳 ハーパーコリンズ・ジャパン B933/ウ

『決戦!広島城』松永弘高／著 朝日新聞出版 F/マ

降矢なな絵本原画展

のひみつ

その2

はつかいち美術ギャラリーで開催中の「降矢なな絵本原画展」。皆さん、もうご覧になりましたか？

8月17日のライブペインティングとサイン会、18日の講演会とサイン会も大盛況で、降矢ななさんも「広島は人間関係が濃い！熱い！」と熱気をビンビン感じていらっやいました。

これから原画展をご覧になる方はもとより、「もう見たわ」という方もまた見たくなる(ハズ)！の降矢ななさんの魅力を今月も司書Gがお届けします。

スロバキアとの出会い

20代の頃、ユーリ・ノルシュテインの短編アニメーション「話の話」に魅了されて以来、ロシアや東欧圏の短編アニメーションをたくさん観ていた降矢さんは、ある日、ドウシャン・カーライさんが描いた『不思議の国のアリス』の児童書に出会います。その絵は子ども向けであるにも関わらず、しっかりと描き込まれて明暗もあり写実的で、日本の簡単でわかりやすく元気のある絵とは正反対のものでした。自分自身の作品に物足りなさを感じ、「今の自分から脱したい」と思っていた降矢さんはこの出会いを機に渡欧を決意し、1992年からドウシャン・カーライさんが教鞭をとるスロバキアのブラティスラヴァ美術大学で6年間学びました。その後、スロバキア人のペテル・ウフナルさん(画家)と結婚し、現在も夫と娘とスロバキアで暮らしながら制作活動を続けています。

降矢さんから送っていただいたスロバキアの生活や風景の画像を図書館内の中央展示コーナーにて、DVD再生しています。降矢さんの家の庭の風景など見どころ満載です。そのほかスロバキアに関する本は、児童はじめてコーナー横に展示中です。

★夫のペテル・ウフナルさんとの夫婦共作絵本があるのをご存じですか。

『びつくりぎょうてん』(小長谷清実/文 ペテル・ウフナル、降矢なな/絵 福音館書店)です。夫婦の絵の違いをじっくり見て楽しむのもいいですね。

そのほかにもアンヴィル奈宝子さん(妹)との共作『わたしのラスチヨ』(降矢なな/ぶん アンヴィル奈宝子/え 福音館書店)、『さるおどり(こどものとも 665号)』(降矢なな/文 アンヴィル奈宝子/絵 福音館書店 2011.8)もあります。



作品にまつわるあれこれ

★降矢さん曰く、スロバキア語ではキツネが女性名詞にあたるため、子どもたちはキツネ=女の子、オオカミ=男の子と思って読んでいるとのこと。だから、スロバキアの子どものみからは「キツネはオオカミが好きなの?」、「こんなひらひらしたお洋服着ているから女の子でしょ?」と言われたこともあるそうです。

絵本の受け止め方、感じ方も国や人によって様々なのですね。

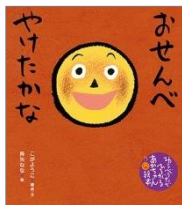


絵の中で単色で描いているところは、19世紀ごろのイギリスの作家、アプトンの絵本『二つのオランダ人形の冒険』を参考にしました(降矢ななさん談)

★残念ながら廿日市3館には所蔵がありません(泣)が、県内の図書館からの取寄せサービスもありますので、カウンターでご相談ください。

ある日、担当者から「降矢さんはヤマネがお好きなようですよ～」と言われた。それはヤマネでお話を書け！と暗に示している。気持ちを汲む—それがシリーズの鍵。(内田麟太郎さん談)

『おせんべやけたかな』の原画展示は図書館内にて9/22(日)まで(予定)。どうぞお見逃しなく！



おせんべがひっくり返ると顔になる、というのは降矢さんのアイデア。とても斬新！(こがようこさん談)

おせんべそれぞれの表情を少し変えたり、「やけた！」のところでは少し焦げ目をつけたり。あかちゃんがどんな風に見てくれるのか楽しみ！(降矢さん談)

★おはなし会で読んでみると、あかちゃんから大人までみんなが自然と笑顔になるのがとても印象的でした。

12人の絵本作家が描くおうえんカレンダー2018



12人の絵本作家が描くおうえんカレンダーは、「福島第一原発事故の影響からいのちを守る活動を支えよう」という思いで2015年秋に発足したプロジェクト。降矢ななさんは2018年のカレンダーの8月を担当されました。今回、その原画を特別に所有者からお借りし、図書館内で展示できることになりましたので、この機会にぜひご覧ください。(このプロジェクトについては <https://www.facebook.com/pg/ehoncalendar/posts/> 参照)。

このほか、児童はじめてコーナーには新たに「降矢ななさんのせかい」コーナーができ、絵本や児童書を展示中。そして、降矢ななさんからのメッセージ色紙もどどんと展示しちゃいます。美術ギャラリーと図書館をくまなく回って、あなたも降矢ななツウ！

人形劇がやってくる!



今年も廿日市市内で活躍しているボランティア団体
「どんぐり座」「おはなしスタジオ」による人形劇を行います。
観覧希望の方は、往復はがきでお申し込みください。



日時 令和元年 11月9日(土)
10:30~11:30(開場 10:00)
場所 ウッドワンさくらぴあ リハーサル室
内容 人形劇「おむすびころりん」他
対象 3歳以上の幼児(保護者同伴)
持ちもの 靴を入れるビニール袋

《申込方法》

往復はがきに「人形劇」希望と、
①名前(代表者の氏名。ただし4名以内)、
②住所、③電話番号をご記入の上、返信面に住所・氏名を記入して、はつかいち市民図書館まで送付してください。

《問い合わせ先》

〒738-0023 廿日市市下平良 1-11-1
はつかいち市民図書館
Tel (0829) 20-0333

《申し込み締切》

令和元年 9月30日(月) 消印有効
※応募者多数の場合は抽選のうえ、結果をはがきでお知らせします。

※ 当日は、駐車場の混雑が予測されるため、公共交通機関でお越しください。

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 ◎	7
8	9	10	11	12	13	14 ★
15	16 ★	17	18	19	20 ◎	21 ◆
22	23	24	25	26 休館	27	28 ★
29	30	31				

◎ ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児
【時間】1回目 10時30分~
2回目 11時~

※整理券をお渡ししています。
相談カウンターにお申し付けください。

☆ おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年
【時間】11時~

◆ ストーリーテリングのおはなし会

【対象】5歳~大人
【時間】11時~

※場所は図書館会議室です。



★ 9/16(月・祝) 11:00~12:00

降矢ななさんの作品を読み聞かせと語りで楽しむおはなし会

※場所はウッドワンさくらぴあリハーサル室です。

